

お知らせ

9月26日開催の「古谷充アコースティックトリオ Jazz In Neyagawa」に
出演を予定しておりました古谷充さんが2020年9月2日にご逝去されました。
ご生前のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

9月26日のコンサートは、
「古谷充さん追悼コンサート ～十川尚子心を込めて～」
と変更して開催します。ご出演を快くご快諾いただいた十川尚子さんのボーカルと、
ご子息 古谷光広さんが入ったアコースティックトリオの演奏、
当時の色々なトークを交えながらお楽しみいただきます。

寝屋川市立地域交流センター **AruKas** 自主事業
アルカスホール



古谷充さん
追悼コンサート
～十川尚子心を込めて～
9/26(土)
14:00(開場 13:30)
アルカスホールメインホール

出演：十川尚子(ヴォーカル)、大西ノリフミ(ギター)、
多田恵美子(ピアノ)、魚谷のぶまさ(ベース)、
ゲスト 古谷光広(サックス)

チケット：前売 2,000 円 当日 2,500 円 (さくら倶楽部会員 10%OFF)
全席指定

問合せ・チケット予約：

寝屋川市立地域交流センターアルカスホール
(指定管理者 株式会社アステム)
〒572-0837 大阪府寝屋川市早子町 12-21
TEL 072-821-1240/FAX 072-821-1241
Mail arukas-info@astem-co.co.jp



十川尚子 Hisako Sogawa /ヴォーカル・ピアノ



大阪生まれ、神戸育ち。
父はブラスバンドの権威・得津武史、母はピアニスト・得津奈都子。
幼少より音感教育を受けクラシックピアノを東京芸大教授・安川加寿子氏他に師事。
親和学園、St. Michael 国際英語学校卒。
叔母のジャズピアニスト・十川千江子の影響もあって、クラシックからジャズ・ポピュラーへとさらにジャンルを広げる。
人気ラジオ番組 MBS「ヤングタウン」を皮切りに、数々のテレビ、ラジオ、ディナーショー、ステージなどに出演。
現在は、主宰する十川ミュージックアカデミーを起点に、リーガロイヤルホテル大阪、ホテルオークラ神戸他、各所で「英語で歌うジャズ・ポップス講座」を展開中。
又、ディナーショー、ライブ、ステージ活動にも力を入れている。
2014 年 3 月ニューアルバム「Chako in the Dreamland」をリリース。
2019 年 FM Oh!(FM Osaka)「十川家の音楽サロン」出演。
2020 年 10 月末、36 年ぶりにファーストアルバム「Chako in the Wonderland」(服部克久氏編曲・指揮)が枚数限定で再販される。
故・古谷充氏とは「サンデージャストインタime」(ABC ラジオ)で 4 年間コンビを組み、その後もレコーディングやディナーショー等で多数共演。

大西ノリフミ Norifumi Onishi /ギター・ヴォーカル・作編曲・音楽ディレクター



17 歳でロックンローラーとしてギター・ヴォーカルを担当し「なんば一番」でプロデビュー。「ホリプロダクション」を経て「中村八大音楽事務所」そして「ユタカエンタープライズ」専属ミュージシャンとなる。20 歳からは、ジャズギタリスト・スタジオミュージシャンとしての道を歩み、ペギー葉山・松田聖子・ジョージ・シャリング等のステージに参加。
「ヤングおーおー」「プラスアルファ」等の TV 番組にもレギュラー出演。28 歳で「大西教文カルテット」を結成し「大阪ロイヤルホテル」等で活動。また、作編曲にも取り組み「1・2・サンガリア」や「人形の久宝堂」等の CM ソング/USEN にオリジナル BGM を 800 曲、高知〜熊本〜岡山〜大分の国体式典音楽を手掛ける。2007 年に CD 「ギターマン」を発表。現在は、ソロからオーケストラに至るまで、様々な音楽活動を意欲的に展開中。

多田恵美子 Tada Emiko /ピアノ



神戸出身、幼少の頃よりピアノに親しみ数々のコンテストに入賞の後、プロミュージシャンの世界に入る。
アートブレーキ、ニューヨークアンサンブル、デューク・エリントン楽団のメンバーなど、国内外の著名アーティストとの共演を重ねる。
2001 年には、サリナ・ジョーンズに認められ、デビューアルバム「EMIKOTADA & FRIENDS」を全国リリース。
スイングジャーナルなどで好評を得る。続いて、セカンドアルバム「Swinging Cinema Jazz」を発表する。
また、声楽家・荒井敦子さんとアメリカのアーカディ音楽祭、ニューヨーク国連エンタランスホール出演。続いてオーストラリアへの文化交流にも参加する。
2004 年から 2005 年の 10 月には、ヴォーカル清水ひろみとニューヨークブルーノートに出演するなど、世界的な舞台でも注目を浴びている。
更に、放送メディアでも「題名のない音楽会」、NHK・FM「セッション 505」をはじめ様々な番組に出演し、各方面より多大な評価を受けている。
2007 年以降、荒尾一夫(Vo)ニューヨーク・カーネギーホール、徳永延生(クロマチックハーモニカ)とグアム新潟親善ライブ、清水ひろみとイタリア・ウンブリアンジャズフェスティバル、フランス・アンティープ国際ジャズフェスティバルに出演。
ヴォーカルの加藤ヒロユキと「ビルボード大阪」に出演。MBS 毎日放送「加藤ヒロユキの音楽のソムリエ」カトヒロライブコーナーにてピアノ伴奏担当。
徳永延生の CD にサイドメンとして参加する。
2013 年、佐々木秀実ドラマティックシャンソンツアーに参加。高石ともや、アロージャズオーケストラとも共演する。
現在、「指先で詩う新進ピアニスト」として、国内外で活躍中。

魚谷のぶまさ Nobumasa Uotani /ベース



1964 年生まれ。20 歳で西山満氏に師事、'88 年からプロ活動を開始する。1989 年の富士通コンコートフェスティバルで、Ray・Brown トリオのツアークルーを務めたのを機に親交を深め、その演奏スタイル、人間性に傾倒し踏襲する。
現在、関西を代表するユニットにレギュラーベーシストとして参加する一方、「魚谷のぶまさ Trio」や「お気楽トリオ」でも精力的に活躍する。また、その活動は、ジャズに止まらず、今年で 18 年目を迎える自己のダンサブル・ユニット「Notes of Joy (ノーツ・オブ・ジョイ)」は、Disco・Soul・Black 系の人気グループである。2013 年には「なにわ芸術祭新人賞・なにわジャズ大賞」を受賞。その他、FM の DJ からイベントコーディネーターまで、その才能は多岐に渡る。
自己のリーダー CD として 2004 年「とびだせ! JACK 1」(魚谷のぶまさ Trio) 2007 年「とびだせ! JACK 2」(魚谷のぶまさ Trio) 2010 年「とびだせ! JACK 3」(魚谷のぶまさ Trio) 2019 年「とびだせ! JACK ver.3.05」(魚谷のぶまさ)参加 CD の一部として 2000 年 塚原小太郎トリオ「WESTRIO」2005 年 赤坂由香里「When October Goes」2006 年 手嶋祥一 & HANK JONES「SUI-SAN-JIN」2008 年 森川七月「J&JAZZ」2009 年 岩本一郎「Talking with Friends」2011 年 岩本一郎「Now you're Talking!」2011 年 Nouvelle Voix 「Take The A Train」2013 年 Nouvelle Voix 「Swing」他、多数を発表し好評を博している。

古谷光広 Mitsuhiro Furuya /サクソ (Saxophone Player / EWI Player / Arranger / Composer)



1973 年 8 月 13 日、大阪生まれ。
幼少の頃より父(古谷充)の影響で洋楽を聴くようになり、ヤマハ音楽院幼児科で音楽の基礎とピアノを習うようになる。
小学校時代にはクラブでトランペットを吹くようになるが、中学校の吹奏楽部でサクソに転向する。
高校時代より、立命館大学 R.U.Swingin' Hard Jazz Ensemble(ピクバンド)のレギュラーメンバーとして参加。
以降音楽活動を開始する。
その後、大阪音楽大学短期大学部音楽専攻ウインド・アンサンブル・コース ジャズ・クラスでは本格的にジャズ・サクソを赤松二郎氏、奥田章三氏、宗清洋氏、理論を田中克彦氏に習う。
その頃より、東原力哉(dr)神田芳朗(b)高橋達哉(ts)松本英彦(ts)中山良之(ts)土岐英史(as)田中ひろし(pf)村上「ボンタ」秀一(dr)クリヤマコト(pf)金澤英明(b)佐山雅弘(p)バカボン鈴木(b)堀尾哲二(dr)田中 武久 (pf) 塩次伸二(gt)等、海外アーティストでは、ポールジャクソン(b)マーティ・ブレイシー(dr/ex,もんたよしのりバンド)マイケルレイ(key)クリスティン・グレイ(アーツィー・コリンズバンドvo)エディー・ヘンダーソン(tp)ブッカー・TウリアムスJr(ts)デイヴ・グリーヴマン(ts,ss)ハンク・ジョーンズ(p)エリック・マリエンサル(as)ニューマン・テイラー・ペイカー(Dr)等、数多くの一流ミュージシャンとのセッションを経験して現在に至る。
また、1996 年にはオリジナルフュージョンバンド「RAMMTARRA(ラムタラ)」を結成(後に「KHAMSIN(カムシン)」と名称変更する)。
1998 年 3 月には 1st アルバム「KHAMSIN」をリリースする。
4 年間の活動後解散し新たに「BLOW UP GROOVE」というオリジナルフュージョンバンドを結成する。
1997 年 12 月アトランタでの演奏旅行、1998 年の 9 月には野々村明とグローバル・ジャズ・オーケストラ(ピクバンド)でモンタレイ・ジャズ・フェスティバルに出演、好評を得る。
2002 年より、IAJE(国際ジャズカンファレンス)等にも参加し、多くのミュージシャンと交流を深める。
セッションやプロジェクトにも多く参加しており、レコーディングも参加する。
今では、第 2 の楽器「EWI(エレクトリック・ウインド・インストゥルメンツ)」を使いこなし、多くの好評を得ている。
2011 年 11 月には、EWI 初の楽曲本「EWI BEST MANIAX」を監修。
カラオケ、演奏、解説等と担当。全国で販売されている。
また、後輩の指導にも力を入れており、夏に開催される、スチューデントジャズフェスティバルの強化合宿に参加したり、各学校に行きトレーニングをしている。